



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

聖書の言葉

「万事が益となる」

聖書(ローマ書8章28節)

牧師 河合裕志

ローマ書(「ローマの信徒への手紙」)は使徒パウロの代表的な手紙、紀元50年代に書かれたもの。その中に「万事が益となる」といった言葉が見られる。すべての事が益となりますよ、よいものになりますよ、プラスとなりますよ、と言う。

そしてこの場合、すべての事はどちらかと言えば、私にとってよくないこと、不利益と思われること、辛いこと、悲しいこと、苦しいことが考えられている。それもしかしやがては益になるよ、よいことになるよ、とパウロは言う。

そうかなあ、そんなことってあるのかなあ、そんなうまい具合に行くものか。パウロの場合はどうだった?パウロは最初反キリストで徹底的にキリストを嫌い、その信徒らを迫害してまわった。改心後は愛する同胞ユダヤ人にキリストこそ救い主と熱心に伝道。しかし同胞は激しく反発、石を投げつけたりして聞く耳を持たない。そこで彼はやむなく異邦人伝道に方向転換。結果福音はギリシャ世界にもたらされる。これは万事が益となる一つの例では?

もう一つ例を上げればパウロは何か病気を持っていたらしい。それははっきりとはわからないがずっと苦しめられた。これを彼はこんな風に受けとめている。「思い上がることのないようにと、わたしの身に一つ

のとげが与えられました。(中略)キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう」(コリント後書12章)。一つのとげ、病気、苦しみ、これは私を思い上がることのないように、キリストの力により頼んで歩いて行くように与えられたものだとして受けとめている。これも万事が益ということでは?

1945年日本は戦いに敗れ沢山の犠牲者を内外に出すに至った。この位悲惨なことではない。しかし敗戦になってよかったのでは?結果民主主義の国になった、軍国主義をやめて平和国家を目指すようになった、基本的人権や様々な自由が認められるようになった。これも万事が益となったこととして覚えてはいけない?

個人的なレベルにおいても国家的なレベルにおいても何事も前向きにとらえることが肝心。神は様々な出来事を通してなお益を、善となることを考えている。こう信じて自らも精一杯の努力をして行く、そこに明るい展望が開けて来るのでは?当面いやだな、辛いなどと思われる事態にも何らかの意味が隠されている。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時